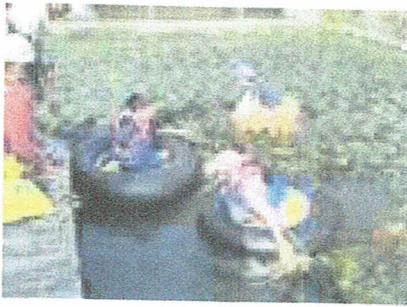




平成 30 年 度 (案)

みぬまのあがた でんえんふうけいてきみんばく
水沼縣の田園風景的民泊

滞在型子ども都市と農村交流
おおきにきたっこ(OK)プロジェクト







おおきふるさと子ども夢学校ネットワーク
春日市スポーツ少年団

大木町交流事業実施要項

- 1、主旨(目的) 総務省等4省の連携事業である都市と農村の交流モデル事業の採択を契機として、平成26年度から春日北小学校5年生を対象に大木町が取り組んできた事業「おおきふるさと子ども夢学校」を、本年度から春日市スポーツ少年団が継承するもので、下記を目的に実施する。
- ①子ども達の自然的社会的経験不足に対して、農村(農業)体験などリアルな体験を通して自主性や自律性を培う。
 - ②受入家庭との関りから、人間的なつながりや社会性の育成を図る。
 - ③民泊ということで、受入家族や子ども同士での少し緊張感のある「コミュニケーション」の必要が生まれ、お互いを思いやる言葉遣いや表現力、実践力の向上。
 - ④日々食べている米や野菜などの生産現場を知るだけでなく、自然と折り合う知恵が活かされた農業や暮らしなどの体験を通して、農業や農村に対する理解を深めるとともに、食育を進める。
 - ⑤身体を動かさないと成立しない農家仕事の現場に触れることによって、仕事に対する考え方や見方に広がりができ、働くことの意味を感じ取ること。
 - ⑥大木町の堀のある暮らしや循環のまちづくりを経験して、自分たちとは違った暮らしがあることに気づき、都市と農村のそれぞれの良さなどの多様な価値観を持てるようになること。
- 2、主 催 春日市スポーツ少年団・おおきふるさと子ども夢学校
- 3、共 催 春日市教育委員会・一般社団法人春日市体育協会
- 4、後 援 春日市
- 5、会 場・協 力 大木町
- 6、日 程 平成30年10月6日(土曜日)～10月8日(月曜日) 2泊3日
別紙活動計画時間割案参照
- 7、対 象 者 春日市スポーツ少年団に在籍の小学5年生
春日市教育支援センターに通学の中学生
- 8、参 加 費 8,000円/1人(宿泊費、食事・体験料すべて含む ※但し、初日の昼食のみ持参)
- 9、申 込 締 切 日 未定
- 10、申 込 先 春日市スポーツ少年団本部事務局
春日市大谷6-24 春日市総合スポーツセンター2F
TEL/FAX 092-558-0294

日程

日	曜	時刻	行程・主な活動
10/6	土	9:00	○集合（春日市総合スポーツセンター第6駐車場）
		9:30	○出発
		10:30	○大木町道の駅おおき到着
		10:45	○オリエンテーション・農場見学・くるるん見学
		12:30	○昼食（弁当）・道の駅店舗見学（目のつけどころマークを探せ）
		14:00	○きのこ工場見学（きのこの里）
		15:00	○子育て交流センターに移動（春日市バス）
		15:30	○歓迎式・対面式（子育て交流C・集会室）
		16:00	○受入家庭へ→自己紹介・約束（ルール確認）・健康調査票記入 ・近所散策 夕食準備・夕食 入浴
		21:00	○団らんのお楽しみ 記録簿記入・就寝
			
10/7	日		○起床・洗面・身支度など ○朝食準備・朝食・片付け・健康調査票の記入 ○各宿泊先でのプログラムに即した活動
			○昼食準備・昼食・片付け ○午後のプログラム
			
			○夕食準備・夕食・片付け 入浴 団らん
			
			記録簿記入・ホストファミリーへのお手紙・就寝
10/8	月		○起床・洗面・身支度など ○朝食準備・朝食・片付け・健康調査票の記入 ○各宿泊先でのプログラムに即した活動
			○昼食・身支度・後片付け（忘れ物がないように）
		13:00	○子育て交流センターに集合 筆記用具だけを持って会場へ、荷物は車の中に。 色紙づくり・記念撮影・お手紙交換
		13:30	○お別れ式
		14:00	○見送り（役場駐車場にバス待機）荷物を車から各自で運ぶ
		15:30	○春日市到着 ○解散（春日市総合スポーツセンター 第6駐車場）
			

☆ 「こんな体験プログラムを用意します。」

～農作業や生活体験・団らん・散策の中で経験できます～

- ◎ 農作業のお手伝いや体験
 - ・花や作物への水やり、・草取り、・株分け、・収穫（稲刈り）、
 - ・定植、・種まき
- ◎ 堀割を知る、楽しむ
 - ・投網や仕掛けでの生き物調べ、・魚釣り、・ハンギリ体験、
 - ・堀のしくみと役割、カヌーで堀割からの景観
- ◎ 農村の自然を知る
 - ・田んぼや畑の生き物（トンボなどの昆虫、ヘビなどは虫類、カエルなどの両生類、カイツブリ・サギなどの鳥類、ドブガイなどの貝類、テナガエビなどの甲殻類）
 - ※作物の害虫と益虫と「ただの虫」
 - ・水辺の植物、道ばたや畦の雑草調べ
 - ・外来生物の影響
- ◎ 天体観測を楽しむ・・・空が広い大木町の空を眺めて
 - ・お月見、星（星座）の観察、・夕焼け・朝焼けのながめ
- ◎ 近くの施設見学と体験・・・大木町のよさを味わう
 - ・韃庵（ふいごあん）＝昔の農具や道具など、
 - ・石丸山公園＝堀の道具など、い草の加工・道の駅（夢市場）
 - ・寺社の壁画や絵馬、狛犬
 - ・きのこ工場、・製菓工場、
- ◎ 田舎を味わう・・・郷土料理指南（調理と食事）＝食育
 - ・だご汁、ごろし、ふなやき、黒枝豆
- ◎ 動物の世話・・・生き物とのふれ合い
 - ・犬の散歩、鶏へのえさやりと採卵、メダカの世話、子豚を抱っこ
 - ・山羊の世話
- ◎ 循環型環境づくり体験＝家族としてまちづくりに参加
 - ・ごみの分別、生ゴミ出し、堆肥まき、環境プラザの見学
- ◎ 大木町を深く知るために・・・ひと・もの・こと
 - ・方言（固有な文化）、よど祭への参加、記念碑とその由来、
 - ・フィールドサイン（田や畑、家の周辺＝動物の足跡、糞、食べ跡）
 - ・作物の農事暦、地名の由来、
- ◎ 農村の文化・・・都会にはない（なくなった）田舎のよさ
 - ・川まつりの習わし・お飾り、伝承あそび（手作り遊び）
 - ・い草製品（ござ・コースター）、
 - ・農家の蔵、かまとや土間のある暮らし、農村屋号